

五色台ビジターセンターは、こんなところです

ビジターセンターは五色台を訪れた人に自然や文化などの情報を提供する環境省の施設です。

◆ 展示 ◆

ビジターホールには五色台の地形・地質のジオラマや岩石、動植物の標本などが展示されている他、図鑑や読み物などの書籍や資料などもそろっており、小さなお子様も楽しめるキッズコーナーなども設置しています。ギャラリーでは定期的に企画展や写真展を開催しています。



石器やナウマンゾウの化石など



四国一(たぶん)の変形菌展示



キッズコーナーと書籍類



ギャラリー

スタッフが常駐していますので、気になることやご質問があればご遠慮なく声をかけてくださいね。

◆ 体験プログラム ◆



◇ クラフト (有料: 200円~3,500円) ◇
香川県産のヒノキでできたキットの小物入れや貯金箱、時計などを組み立て、木の実や小枝などで飾って、オリジナル作品を作ってみませんか?
竹とんぼや、輪切りにした木に自然素材を飾り付けた自由工作も楽しめますよ!

◇ 森歩き(有料: 小学生以上ひとり100円) ◇

ビジターセンターの周囲の森を職員と一緒に歩く「森歩き」を定期的に実施しています。自然の解説だけでなく、クイズやゲームを交えた、小さなお子様にも楽しんでいただけるプログラムです。実施日を記した「森歩きカレンダー」をホームページやビジターセンター便りなどで公開しています。

◆ クラフトハウス ◆

ビジターセンターから歩いて3分ほどのところに建つクラフトハウスは自然体験活動を実施する団体や学校の校外学習、子ども会の活動などに無料でお貸しする事ができます。クラフトの道具や調理器具なども充実しています。ご利用についてはビジターセンターまでお問い合わせください。

※ビジターセンターおよびクラフトハウスには冷暖房設備はありません



森に囲まれた広い園地でのびのびと!

(編集・発行)

瀬戸内海国立公園 五色台ビジターセンター

〒762-0014
香川県坂出市王越町木沢(五色台)

TEL : 0877-47-2479
FAX : 0877-47-2048

HP : <https://goshikivc.jp>

入館無料

開館時間 9:00~17:00

休館日 月曜日(祝祭日の場合は翌日)
年末年始 (12/29~1/3)

無料駐車場 56台



瀬戸内海国立公園 五色台ビジターセンター

五色台だより



No. 57 春夏号 2025年4月発行



企画展示

4月19日(土)~6月8日(日)

「春から秋にかけて見られた野鳥たち」

日本野鳥の会香川県支部の皆さんが撮影された野鳥の写真展

6月21日(土)~8月31日(日)

「冬虫夏草と変形菌」

森のふしぎな生き物、冬虫夏草と変形菌の写真や標本を展示

オトシブミの「落とし文」

メールもLINEもSNSもなかった昔、直接会って話すことのできない相手に意見や思いを伝えるには「文(ふみ：手紙のこと)」がその手段でした。文のなかでもおおっぴらに言えないこと(他人の悪口とか恋文など)は、それを書いた文を丸めてわざと路上に落としておくのですが、そんな文のことを「落とし文(おとしぶみ)」と呼びました。

初夏の頃に森を歩くと、木の葉で作られた巻紙のようなものが地面に落ちていることがあります。昔の人はこれを森にすむ野鳥が作った「落とし文」と考え、「ほととぎすの落とし文」とか「うぐいすの落とし文」と呼び、俳句の季語にもなっています。

じつはこの落とし文を作ったのは野鳥ではなく、その名も「オトシブミ」という昆虫で、巻いた葉っぱの中にはオトシブミの卵が産み付けられており、卵からかえった幼虫はまわりの葉っぱを食べて成長して蛹(さなぎ)になり、蛹から成虫になって「落とし文」から出てきます。つまりオトシブミのつくる「落とし文」はオトシブミが卵から成虫になるまでの大切な「ゆりかご」なわけで、これを「揺籃(ようらん)」と呼びます。

五色台にはヒメクロオトシブミやエゴツルクビオトシブミ、カシルリオトシブミなど何種類かのオトシブミが生息しており、それぞれに揺籃にする植物の葉っぱの好みも違えば作る揺籃の形も違います。表紙の写真は揺籃を作り終えたばかりのカシルリオトシブミですが、揺籃の材料はイタダリの葉っぱです。



イタダリの葉を切っていくカシルリオトシブミ



エゴツルクビオトシブミの揺籃と成虫



ヒメクロオトシブミの成虫と揺籃



五色台にある白峯寺には玉章木(たまずさのき)の伝説が残っています。平安時代、京の都から讃岐の国に流罪となった崇徳上皇はホトトギスの鳴き声に都をしのび、「鳴けば聞く 聞けば都の恋しきに この里過ぎよ 山ほととぎす」と詠じられました。それを聞いたホトトギスは木の葉を巻いてくちばしを差し入れ、小声で鳴くようにしたといひます。その巻いた葉の形が玉章(手紙)に似ているため、「ほととぎすの落とし文」と呼ばれるようになったそうです。

五色台ビジターセンターでは職員と一緒に自然を観察しながら森を歩く「森歩き」を実施しています。初夏、南の国から渡ってきたホトトギスの鳴き声を聞きながらオトシブミの作った「落とし文」を探してみませんか？

写真展

「春から秋にかけて見られた野鳥たち」

2025年4月19日(土)
～6月8日(日)



日本野鳥の会香川県支部の皆さんが
撮影された野鳥の写真展

※ここに挙げた写真は昨年写真展で出品されたものです

企画展

「冬虫夏草と変形菌」

2025年6月21日(土)
～8月31日(日)



生きている昆虫やクモに寄生し、それらを栄養にして発生するキノコ「冬虫夏草」。

「菌」が付くけど菌類じゃなく、動物でもなければ植物でもない「変形菌」。

不思議で面白い冬虫夏草と変形菌の世界を、写真や標本で紹介します。夏休みの自由研究はこれで決まり！！

体験教室

2025年

5月18日(日) 初夏のバードウォッチング

6月29日(日) 変形菌入門講座

8月2日(土) 冬虫夏草入門講座

※詳しい内容などは随時発行される「ビジターセンター便り」やホームページでお知らせします
状況によりイベントが中止になったり、開催日や期間が変更されたりすることがございます